



神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク 会報第30号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2006年10月1日号, No. 30

第30号の目次

- 1、神奈川県・海老名市合同総合防災訓練報告
(2006.9.3) …伊藤和博
- 2、津久井赤十字病院防災訓練報告
(2006.9.16) …矢代幸雄
- 3、走ろう会 BB ロードに行く
(2006.4.16-17)…矢代幸雄
- 4、北の大地ツーリング記録
(2006.8.11-21)…矢代幸雄
- 5、編集後記

2006神奈川県・海老名市合同総合防災訓練報告

伊藤 和博

去る9月3日(日)恒例となった神奈川県と共催市町村による合同防災訓練が行われた。この訓練は8都県市合同防災訓練の一環として毎年行われているが今年も神奈川IRBは訓練当初の打合せから参画し、当日を迎えた。今回の報告は本部を担当しアマチュア無線で全体行動を把握してきた伊藤隊員によるものです。以下、伊藤隊員の報告(原文のまま)写真提供は宇波隊員によります。

合同防災訓練報告

伊藤 和博



2006年9月3日(日)晴れ。今日も暑くなりそうだ。私が現地に着いたのは8:45であったが、メンバー各位はもう既に到着し準備万端の様子。気合が入っている。今日は、H18年度神奈川県・海老名市合同防災訓練が9:00~12:30の予定で海老名市役所西催事広場を主会場に開催される。バイク隊だけど諸般の事情で4輪での参加。

4輪だから渋滞を考慮しちょっと早めに出たつもりだったが、「お待ちせー」という挨拶がびったりの状況で、ちょっと赤面…。大谷隊員が駆け寄り資材を渡してちょっと離れた駐車場へ急ぐ。駐車場から会場へは徒歩で移動、脚の回転数が上がらない。暑さのせいで既にバテバテなのか? やつぱり、朝飯食ってくれば良かった……。寒地仕様様の燃費の悪い身体だ。

- 本題からそれてしまいました。今回の訓練で神奈川IRBは
- ボランティアセンター(以降VCと略します)開設訓練の一組織としてバイク隊を設置する。
- バイク隊として、通信手段が途絶した避難所の状況確認と

救援要請内容のVCへの報告、さらに救援物資の運搬を行う。

●展示コーナーにて神奈川IRBの活動内容を紹介する。

以上を行い、神奈川IRBメンバーの相互連携・連絡体制の充実強化を図りメンバー個々の技量向上さらに総合的スキル向上を目的として参加しました。



←幹事の後藤副代表

1. 状況(所感)

さあ、いよいよ訓練の始まりです。まず、最初はバイク隊本部設置です。バイク隊の本部とは云っても、VC本部テント内に設置された机に無線設備を設営するだけである。アンテナはGP一本、これは私が駐車場から会場

へ向かっているわずかな間に大谷隊員が設営完了。同軸ケーブルを邪魔にならないようにテント上部に取り回す事の方がアンテナを立てるよりも時間がかかったようだ。無線機もアタッシュケースを開けて電源ケーブルを取り出し、コンセントに接続するだけで開局OK! まさに秒単位の設営完了。社団局としての第一声「チャンネルチェック、こちらはJQ1YOB/1。この周波数お使いでしょうか?」久しぶりのオンエアで少しだけ声も上擦ってしまった。同じ機を使っているお向かいのVC本部の無線班はまだケーブリングをしているようだ。私は神奈川IRBのステッカーが貼ってあるアタッシュケースの上蓋部分を高らかに立ち上げ、チャンネルチェックの第2声。大人気ないがちょっとだけ得意満面だった事は間違いない。 ↓本部、伊藤・大谷両隊員



それも、すべて沢田隊員のおかげである。沢田隊員の所有する無線機材一式をお借りしての運用である。特にアタッシュケースに仕込んだ無線機と電源は移動運用の機能性抜群で

ある。とてもボランティアでの活動の一環とは思えない完成度の高さである。いずれ隊員の運用訓練をかね、どこかフィールドサービスで出かける時が楽しみである。

準備が整ったところで、チャンネルを確保するため試験電波の発射とメンバー各局の通信状態をチェックし変調の確認など行いながら神奈川IRBのミーティングまで待機する。

今回の訓練は神縄・国府津一松田断層帯地震が発生、M7.5、最大震度7という想定で行われる。本当に発生したときに自分は生きていられるか? と疑問に思うが、「自助・共助・公助」と呼ばれるように、まず自分が助からなければ話にならない。今回の訓練をとおして今一度自分で何をすべきなのか日頃から心がけておかなければならない事はどんな事なのかを学ぼう。

と、思っているうちに後藤隊員(副代表)のミーティングを始めるとの声がかかった。神奈川県メンバーは訓練準備ミーティングを行い、事前に打ち合わせたタイムスケジュールに従って各班の行動予定を行なう事を確認し、事故が無いよう気合を入れた。

↓タンデムの永野隊員



各班は、1班:尾崎隊員(JA1WSM)、手塚隊員
2班:古賀隊員(7M4TBA)、宇田津隊員
3班:井上隊員(神奈川県代表)、杉野隊員(7L1GX1) 辻谷

隊員 4班:矢代隊員(JE1DYA)、永野隊員、夏賀隊員、原田隊員
5班:後藤隊員、山田隊員(JR1HDE) 展示コーナー:梶隊員
来賓席:太田隊員(7N4MOY) バイク隊本部:伊藤隊員(JE1BQT)、大谷隊員(7M1RDL)となっている。



今回の訓練でのタイムスケジュールなど細かな計画は後藤隊員の努力の賜物だ。かなりの時間を割いていただいたと思う。訓練のための綿密な計画を立ててこそ、その反省点を次回

に活かせる事ができ、よりよい評価に繋がってゆくと思っている。諸先輩のご指導もあったかと思うが、目立たない所での苦労をいつかねぎらってあげたいと思っている。ミーティングが終わった後、バイク隊本部に待機してタイムスケジュールに従った運用を行う事にした。本来であればVC本部の要請に基づいてバイク隊の派遣指令となるのだが、残念ながらVC本部とバイク隊との時間軸に差があり、VC本部の指令を待っていると救援物資輸送訓練の開始時刻に間に合わなくなる可能性があり、やむを得なくバイク隊のタイムスケジュールでの運用とした。まあ、事前にその可能性があると聞いていたのでそれほど心配にはなりませんでしたが、第1班の出動要請時刻が迫ってきてもVC本部は全員のミーティング中だったので1時間程度の差があったと思います。これはバイク隊の目的とする訓練内容とVC本部の訓練の違いだと思います。



バイク隊は実際にバイクで走行する事が必要であるため、その所要時間により時刻を後ろ倒しにする事ができません。バイク隊のタイムスケジュールに則り、事前に作成していた運用

シナリオを元に各班との通信確認から始めます。また、事前に各拠点での通信状態も確認しているので通信に関する心配はありません。ただ、実際の場面では通信そのものがどうなるかという問題もあるかと思いますが、今回始めて無線通信の訓練もかねた事から後に述べる「次回に期待したい事」にまとめます。そうこうしている間に5班の出動時刻となり、5班への出動要請を行います。5班は道路状況の視察が主な任務になっています。訓練当日の交通集中による混雑で時間がかかるだろうという心配から一番早く出発する事になりました。地元である後藤隊員の読みはずばらしく、休日の海老名市役所周辺から駅にかけて交通集中があったようです。次の出動要請は第1班で国分寺台ケアセンターの状況を確認し被災者と救援物資の要求をバイク隊本部に要請する事が主任務です。続けて第2班の出動要請

で、福祉会館の状況を確認し被災者と救援物資の要求をバイク隊本部に要請する事が主任務です。第5班からの道路状況報告が入りバイク隊本部も忙しくなってきました。送られた情報をきちんと書き取る、復唱する、正しく伝わったか内容の確認を行う事は、言葉だけですので簡単ではありません。訓練であるがゆえにその内容は事前に分かっているのですが、訓練ですから書き取りを行っていました。第1班の現着の報告と救援物資の搬送要請を受信しVC本部への報告(実際には報告はしていません)、その報告内容から第3班の出動要請。第3班は第1班の要請に基づき国分寺台ケアセンターに物資を搬送することが主任務です。続いて第2班からの現着の報告とケアマネージャの出動要請を受信しVC本部への報告(これも実際には報告していません)、その報告内容から第4班の出動要請。第4班はケアマネージャ2名をタンデムで移動してもらう事と救援物資を搬送する事が主任務です。ここまでは、タイムスケジュールに従い順調に進んでいたのですが、第4班にアクシデント発生です。到着予定時刻になっても連絡が無く、交通集中により多少は時間がかかる事は予想できましたが、その後連絡があった内容は、タンデムの2台が故障となり急遽、物資搬送のバイク2台に乗換えてケアマネージャを移動させるとの連絡でした。



訓練の予定に無く、ほぼ同時に2台が故障となったので受信直後は訓練をアレンジしたのか(ヤラセ?)と思いましたが本当に発生した偶発のアクシデントだったのでした。

た。目的を達成しようとする臨機応変の対応は訓練とはいえず「流石、ベテラン隊員」です。また、4名体制の班であった事も結果的に幸いだったと思います。第4班の状況を第2班に連絡中に第4班が現着となりケアマネージャ2名は無事到着となりました。各班も任務を終え無事にバイク隊本部に戻ってまいりました。多少のアクシデントはあったものの事故も無く無事に終了です。続いてはバイクによる物資輸送訓練です。救援物資をバイクに積み込み待機場所へ向かって行きます。私はバイク隊本部の撤収です。撤収も簡単です。カップ麺にお湯を注ぎ撤収を開始して、撤収が終わったらカップ麺が出来上がりという表現がぴったりです。

2. 反省点

反省点としてVC本部の一組織として立ち上げたバイク隊ですが、今回の訓練中にVC本部の方との会話はほとんど無く、出動要請の依頼票が無いなどのフォローでワークシートが出てくる状態であった。バイク隊とVC本部に壁は無いものの意思疎通は無かったと感じます。つまり、訓練の目的に違いがあるためとは思いますが、反省点としてバイク隊本部とVC本部との連絡に関しても訓練する必要があると考えられます。もう一点は無線の運用に関する部分になるのですが、情報量としては5班から報告してもらう内容が多かったのでチャンネルを占有する時間が長く、他局からのバイク隊本部の呼び出し(移動局は場所により他の移動局が通信中か分からない)で5班からの報告が一部聞こえなくなる状態が発生しています。無線のやり取りを常時間聞いていれば、どの班と交信中かその交信が終了したかが分かるとは思いますが、無線機から離れていて交信状況が不明な場合で本部を呼び出す時に、本部から送信中では無い状態は「ひょっとしたら本部は他局の受信中？」と云う状況も考慮する必要があります。同一のチャンネルで

本部と各班との通信が必要となっている状況で移動局が本部を呼び出す時は、フォネティックコードを長々と言うのではなく、簡潔に呼び出していたきたい。本部はその局と交信できる状態でなければ、ちょっと待つように短く応答します。

↓ 記録・写真班宇波隊員



呼び出した局は、いずれ本部から呼び出しがあるまで待機する事になります。また、本部が交信中ではなく、どの局から呼び出されたか不明なときは、「QRZ」を使用します。本部から「QRZ」があった場合移動局は、そのまま交信に入ります。緊急の場合は交信の間(交信したい相手の送信が終わる瞬間のタイミング)で「ブレイク」と送信すれば、相手から「ブレイクどうぞ」という事で割り込みが可能です。今回の訓練のように本部を中心にスター型のネットワークの場合は移動局同士の交信は行わず、本部を経由しての「QSP」とする事が良いと私は考えています。

3. 次回に期待したいこと
折角の訓練の機会ですから、現地の状況確認をシナリオとして「指定された場所へ正しく行きつけるか」という訓練も良いと考えています。一度も行った事の無い場所へ行くためにリスクもあると思いますが、総合防災訓練にこだわらず隊員のスキルアップにも良いと考えます。夏賀隊員の装備の中にマップコードを指定することによって、目的地までのコースをナビゲーションする事が出来るGPSがありました。PCでのWebサービス(災害時にインターネットが使えなければダメですけど)でマップコードを求めたりする事もでき、できれば次回の訓練に盛り込むのが良いかと思います。情報収集班はマップコードなどで抜き打ち的に指定された場所に向かい情報収集、状況報告する事が考えられます。行政でもヘリなど飛ばして同じように現地の状況報告ができる事は報告されていますが、バイク隊はローカルなエリアで活躍できると思います。



津久井赤十字病院防災訓練報告

2006. 9. 16

矢代 幸雄



9月16日、津久井赤十字病院で防災訓練が行われ参加の山田、大谷、夏賀、伊藤、永野、矢代の6名が参加した。想定は相模トラフを震源とする M7.9 の地震。病院の被害は窓ガラスがわれ壁にひびが入り損壊が認められるが火災の恐れなどはない、看護師等が入院患者に落ち着くよう促

し今後の重症被災者の対応に備える。



今回は前回と異なり私たちは入院患者と震災傷病者役に徹することとなった。

傷病者の役のみですがどのように対応してもらいたいかがよく判ったと思います。

これは私たちがこの経験を生かすことは無い方がいいのですが私たちの訓練は常にいつ役に立つかわからない事を学んでいくものなのだという事を改めて感じました。



皆さんの迫真の演技すばらしかったのですが傷メイク担当の看護師さんの技術はハリウッド映画メイク担当も顔負けの腕前でした。

その傷口をじっと見ていると気持ち悪くなる気がしてきて...

様々な傷メイクを施してもらっ

てひとり4・5役ほどこなして訓練終了。

今年も良い経験になりました。

左から大谷・永野・夏賀・矢代・伊藤・山田



走ろう会BBロードツーリング報告

2006.4.16-17

矢代 幸雄

先週も友人と来た小田原漁港市場。2年前に七都県市(当時は八都県市ではなかった)防災訓練に参加した。メイン会場が小田原だったのだが我々はこちら小田原漁港にて海上保安庁から物資を受け取り輸送訓練に参加したの



でした。懐かしいなあ、まるで昨日の事に思い出すことができます。

さて、今回のツーリングの目的は各ルートの検証ですが、まずは腹ごしらえ

今日は港の朝定食730円目当

てに8:30到着。メニューには「お昼でもどうぞ」と書いてあるが今まで昼食にお目にかかったことはないので本日初試食、鰹角煮、ご飯、貝のだしが効いた味噌汁、厚焼き玉子、刺身、しらすおろし内容は日によって少し変わるようだが基本は同じ。満足満足!!

次回は評判の単品をかき集めた鰹のつみれ汁 180円に玉子焼き 280円& ご飯 150円で610円也でいかがでしょうか?

さて、他のメンバーとも合流して班分け後それぞれのコースにて集合場所

に向かう。私とチームを組んだ尾崎隊員には一番変化のない海岸通を順当に進むコースだけど実は途中で魚の安くうまい店の下見を3件ほど計画している事を告げ極秘任務だとか言いながら、何のことはない、単純に私の都合に付き合ってもらったことした。



最初の下見、漁師小屋に10:14到着。
店のご主人には「ごめんね、今日下見なんだ、今度大勢連れて来るから」と言いつつご主人にはいろいろ説明してもらった。

今度とお化けは出たためしがないと言うが、本当に行くつもりですよ。たぶん……。

尾崎隊員は沖の釣り場に興味深々のご様子だったが下見がまだあるのでは、次！！と言って先を急がせる。次の下見場所、ふしみ食堂着10:36。この女将さんにも「また今度来るから」と言って後にする。

だから、本当に行くつもりだってば。↓**深海魚定食**



そんなこんなで、各ルートを検証してきたメンバーと合流(省略し過ぎ!)伊豆スカはかなり風が強かったらしい。で、12:33戸田着、深海魚定食で有名な魚重食堂で空腹を満たす事にした。ここで白バイ大会のとき

にだけお会いする方、多分私が参加した事のない講習会の指導員さんにお会いしました。その方も、マストツーリングでこちらに来ていたようです。さて、思いっきり待たされるイメージがありましたがさほど待たされずに出てきた定食です。深海魚って普段余り口にすることはないけど身が柔らかくて美味しいですね。印象では硬い小骨がすごく多くて食べにくいのかと思っていました。残念ながらここで離脱のメンバーもいます、永野さんお疲れ様でした。途中で後藤バイク隊長の友人と合流したのです。その後、縁のないはずがどお言うわけか「恋人岬」に立ち寄ったが、やはり、意味なかったみたい、駐輪場で終始雑談で色気も何もありません。



次に立ち寄った堂ヶ島でも雑談に花が咲く連中はほったらして後藤隊員、伊藤隊員、矢代で観光船に乗って穴場探検したつもり。なかなか戻ってこないのが本当に我々が観光船に乗っていると知らせる事ができたの

は大成功でした。(笑) ↓**BBロード**



松崎町で本日最終の給油を済ませた後、矢代はちよい先の岩堂探検江戸城建造のための城壁の石をここから切り出したそうです。管理人もいなく無料の施設ですがこう言う穴場的施設は結構好きです。さて、他の

メンバーは私より一足お先にBBロードにチェックインして大沢温泉に向か

います。程なく私もBBロードにチェックイン。私も後を追うように大沢温泉へ。

この手の温泉には石鹸使用禁止のところが多いために確認するとあっさりOK、本日の垢を落としさっぱりして宿に戻る。

夕食のご飯は…ご飯がすごく美味しくて。

女将さんの愛情だと、賛美していたが「水がいいんです」との事。ここはお酒持ち込み可能になっていますが、正しくは「持ち込み必須」です。ここら辺、誤解する人が多いみたい。実は私も、普通、持ち込み可能でも、仕方なく許しているレベルの宿が殆どなので今回も500ミニペットボトルに詰め替えたブランディを持ち込みましたが堂々ボトルのまま大量に持ち込まなければならない。です！！今回は近年入隊していただいたメンバーも多



く、じっくりと飲みながら話をしたことのないメンバーの意外な、と言うかすばらしい一面を見せてもらったような気がします。皆さん優れた技術をお持ちでした。救急法やロープワークなどエキスパート揃いです。朝食

も炊き立てのご飯がとてもおいしい。ついおかわりをせずにはいられない。RBメンバーとオーナーさんと記念撮影後、BBロードを後にします。翌日は天候不良でしたので特に観光などせずに私は昼食も摂らずに直帰、写真も1枚も撮っていません。15時には風呂上りのビール片手にラジオからの渋滞情報を聞きながら至福の時を過ごしておりました。今回の反省点、その場に適応した送信出力、ヘッドセットの充実です。



北の大地ツーリング記録

2006. 8. 11-21

矢代 幸雄

8月11日 2:50 自宅発

さあ、06年夏B級グルメ北の大地ツーリングの始まりだ。あきる野ICへ向か



うはずが間違えて日の出ICへ、まいった。新潟 FT(フェリーターミナル)そばの出光で給油、便利だった隣のローソンは閉店していた。船内でのんび

り過ぎ翌日 12 日 4 輪降車の手際が悪く散々待たされて 5:20 降車、昨年フェリーと一緒に S 氏、D 氏と再会を祝し FT 駐車場で記念撮影、昨年も寄



った飯の半田や手稲店は閉店していた。この時点で計画より遅れ気味なため R5 沿いに別の半田やを発見したがそのまま進み清水ドライブイン到着 8:57 誰もいない食堂で牛トロ丼を食



←牛トロ丼 1 年ぶりだ、美味。帯広のネットライダーが集まる食堂・味のやの方から教えてもらった八千代育成牧場にやってきた。人があまりいないけど景色がいい。小規模な燻製工場と牛乳製品工場があるアイ

スクリーム 260 円は濃厚で旨い、ソーセージ・ハム・サラミもおまけでくれた。こちら燻製の香がしっかり付いていておいしかったです。時間になったのでジンギスカン白樺に向かい 10:53 着。開店前のはずだが食べている人がもう居る、早速中に入ってジンギスカン 420 円と小ライス 130 円 私はジンギスカン臭さは気にならないのだがこの肉はジンギスカン臭さが全く無い。11 時を過ぎた辺りから行列が出来始めた、開店前でよかった。



愛国駅和幸福駅で有名な広尾線、その両駅の間は大正駅がありましてそばに大正カニの家があります。00 年に改装されたロクハウス風のおしゃれな RH(ライダーハウス)ですが利用者のマナーが良い様でと

てもキレイに保たれています。道中は大食いになるために帯広の温水プールでひと泳ぎして柳月に来ました。

いろいろ心惹かれるお菓子がありませんでしたがチーズプラネットをいただきました。夕食は前から行きたいと思っていたトンカツ屋でしたが値段の割にはたいしたことはありませんでした。本日の宿は元帯広 YH だったビジホ・ホリデイです。数部屋を RH として開放しています。13 日池田・北見間のちほく高原鉄道廃線跡を見て回ります。足寄や本別などの大きな駅は道の駅や記念館になっていますが様舞の様な寂れた駅はホームこそ残って居ますが線路は取り払われ周りは草ぼうぼうで通りからはそこに駅があったなんて気が付かないほどになってしまっています。阿寒湖の先に双湖台がありここから見えるパンクレーは北海道のように見えるそうですが実際は道南がかけた北海道でしょうか。9:54 多和到着快晴の多和平は初めてです。ここも育成牧場です、そして毎回来るところです。昼食は和琴半島そばの国道沿いにある食堂おかめで塩ラーメン 400 円懐かしい感じのする味です。ゆで卵と漬物のサービスがあり嬉しかったです。近所の駅構内の有名なレストランはコーンスープが 420 円なのですがこれはインスタントのカップスープ私はカウンター越しに目撃してしまいがっかりです。とても天気がいいので気を取り直して津別峠に向かいました。ここは穴場です。人が少なく標高約 700m ですごく涼しいです。美幌峠にも行きましたが標高が低い為に激熱です。屈斜路湖周辺キャンプ場テントサイトはイモ洗い状態です。私は毎年お世話になっ

ている RH 蜂の家の大広間でのんびりです。温泉の前に温水プールでひと泳ぎと思っていたら例の排水溝の問題でここ川湯温泉温水プールは保守点検の為に 15 日まで休館との事少しがっかりであるが気を取り直して温泉にゆっくりつかり宿に戻ったが、ここでとんでもない事態に……。温泉から帰ってきてテールボックスの鍵を開けようと思ったら鍵がありません、クリップでベルト穴に挟んでおいたのに……。もちろんバイクのキーも一緒です。 ↓

キーをなくした河原



さてどうする?とりあえず今歩いた道をもう一度戻ってみるか、記憶の中では落とす可能性のある場所は道路から川岸へのちょっとした段差を飛び降りた時に勢いで外れた可能性が高い。などと思いながらも見つ

らなかったら 06 北の旅はここで終わりか?などと不安で一杯だった。観光客とは異なる地面をきよきよ見回す怪しい奴、問題の飛び降りた場所に到着、そのままでは草が被い茂っているのだから草を掻き分けてみたらチャリと言う金属音と同時にテールボックスの赤いキーが目に入りました。夕暮れの温泉街で川原の草陰で叫びたくて。



今回はトレパンのベルト穴の布に挟んだだけでしたので固定強度は非常にもろい状態でしたが無事見つけて本当に良かったです。さて、夜は月に照らされた摩周湖を見に行こうと思った居まし

たが、なかなか月が出てないので諦めました。14 日は 5:36 発、屈斜路湖周辺は霧に包まれていましたがとにかくここに居てもしょうがない網走方面に直接向かう道道がありどんどん標高を稼いでいきます。藻琴展望台に付く頃には雲の上に出て眼下には今までに見たことも無い雲海が広がっています。展望台でしばらく絶景に見とれているとバイクが一台やってきました。雲海を背景に写真を撮ってもらいしばし歓談、普通の景色が見えるよりすばらしいと意見が一致、互いの旅の無事を祈り展望台を後にした。次の目的地は監獄博物館だが時間が早いので天都山展望台で一休み、網走監獄博物館は毎年来ているが毎年展示物に変化や趣向を凝らしている。食堂の奥には山崎務主演「刑務所の中」のセットが展示されていた。



←網走監獄 まるで受刑者の「願いま〜す」の声が聞こえてくるようでした。次に向かった能取岬はのどかな所です。草を食む馬や打ち寄せる潮騒を眼下に見下ろしてのんびりするに

はいいところです。昼食にまた網走監獄に戻ってきました。今年から限定食ではなく 11~2:30 まで OK の網走刑務所を出されている物と同じ内容です。焼きサンマおひたし切干大根の煮付味噌汁麦ご飯で 500 円、健康的で安い。昨年は無料だったが今年からは 200 円の斜里町温水プール監視員が覚えていてくれて「去年も来たでしょ」(笑)本日の宿ボンズホームここは近年数回お世話になっている宿で明日ここが主催している知床観光船に乗る予定である。昨年は視界不良で欠航

となったが今年は大丈夫なようだ。15 日知床観光船ネイチャーウォッチングボードで知床半島を海から観察する、往復 5 時間をかけてゆっくり見て行く定員 12 名の自然観察船である時間を追うごとに変化してくる海岸線途中、2 頭の小熊を連れた親熊に遭遇した。知床岬自体は地元観光団体や自治体の上陸自主規制があるのだが心無いハイカーが岬に上陸して荒らしてしまうことが後を絶たないのでこのままでは法規制するしかないようだ。すばらしい自然を目の前にしたがその自然との共存は非常に難しい問題であることを実感した。



港に戻って本日の宿に何回か連絡を取ってみたが留守電のまま、宿について玄関を見ると「本日食事無」のメモ書きがある、ここはライダー定食が目的なのでまたの機会にした。そのまま南下して根室の銭湯あけ

ぼの湯で汗を流し、昨年世話になった RH お母婆にチェックイン霧が濃くて危うく看板を見過すところだった。女将さんが覚えてくれた。この霧なので見落として通り過ぎていくライダーが数台戻って来た。私がチェックインした時は他に 1 名だけだったがわらわらと増えてきた楽しい夜になりそうだ。ここは居酒屋を併設しており 1500 円以上飲み食いすると宿泊費がただになるシステムである。定番のエスカとビールジョッキ 2 杯で 1700 円。横浜出身の高校 2 年生ライダーがおり彼は親から自費でひとりで北海道を旅して来いと言われ道内を回っているのだがどういわけか連泊してしまった RH での体験が強烈で楽しかった様だ。内容については公開することをためらう内容も含まれているので何かの機会に直接話そう。16 日 8:00 喫茶どりあんでオリエンタルライスを食べる、ドライカレーの上に牛焼肉が乗っていてドミグラスソースがかけられておりとてもおいしい。朝食の後は立て続けに花咲カニを食べる。



ここでも店の人が覚えてくれた、30 分格闘して完食するくらいなので結構食いがけりおいしい出来れば 2 回くらい寄りたい値段は 600 円。正にカニを食っている最中にロシア船に

よる日本カニ漁船の襲撃事件の一報が飛び込んできました。ご冥福をお祈りいたします。

海岸側は相変わらず霧が立ち込めているので諦めて R44 を西へ向かう。釧路では開店しているのを見たことがなくて幻の食堂とまで言われたつや食堂が開店している 11:59 丁度屋飯道内ではどうしても蛋白質中心の食生活になってしまうので健康に良い納豆定食にした 450 円再び帯広にやってくる六花亭でケーキ 4 種類を購入 1 コを食し 3 コを夜のツマミにしよう。夕飯は味の屋で豚丼、ネットでの知合いに会う、この人は糠平の湯元館に荷物を置いて味の家に来たらしい、私はこれから湯元館へなんという偶然、店の人たちともしばし歓談昨年私が注文したメニューのことも覚えてくれていた、自家栽培のミニトマトもいただいた。ここの豚丼は他のところより柔らかくておいしい、ヒミツは焼く前に十分叩いて繊維をほぐしている事に気が付いたさて店を後にして糠平に向かう途中結構雨が降っていたが丁度いいペースカーが居たので楽だった。雨の為避難してきたライダーが多いために大部屋ではなく普通の客室です。早速温泉へ湯の温度が結構熱かったので

足湯で十分でした。今回の宴会は大部屋ではなくロビーに集まってと言う感じでした。自衛隊の方がいらしたこともあって災害救援についての話に花が咲き RH での話というよりも RB の話と言う感じで盛り上がりました。17 日朝弱い雨、糠平を南下する然別湖までの道道は狭くて湖側の路面に亀裂が入っている。ビビりながらやっと広い道に出た一安心。ドライブインというは 7:00 から営業の食堂で豚丼が評判らしいたれが濃くておいしい。ふらのチーズ工房ではチーズの試食だけではなくふらの牛乳を買って飲みました。美馬牛の喫茶ラ・マルタは 6 年ぶりです当時と同じハンバーガーオープンサンドをいただきました。おいしかったです野菜もたっぷり取れます。すばらしい景色の美瑛周辺をぐるぐる回るのだが熱いここは本当に北海道なのかと疑いたくなるほどだ。



涼を求めて富良野温水プールでひと泳ぎして宿に戻りシャワーを浴びて宿の夕食 500 円の割には豪華でも、この宿の管理人は愛想が無い部屋はキレイなので割り切れればいいかも知れないけど次回富良野に泊まる

時は違う RH にしてみようか。昨年あった H 氏と G 氏と再会夜中のすごい雨音にたたき起こされたバイクが流されるんじゃないかと心配した程だ。強行予定の 18 日弱い雨の中、三笠鉄道村に向かう 01 年閉館時間を過ぎてしまいい見ることが出来なかった 9:05 さすがに客は一人だ。動態保存の SL を動かす準備をして蒸気を溜めている館内を見ていると案内の方が私に声をかけて来る「SL を動かすので乗ってみたいか」とのこと遠慮すると「全然違いますよ」と食いが下がるどうしても乗せたいらしいがたかが 700m を運転室にならともかく客車には全く乗る気がしない。1 時間近くかけて見学したのだが私以外の見学者に会う事はなかった。さらに東に走り月形に向かう規模が小さいがここにも監獄博物館があるのだ。

網走監獄は撮影 OK なのにここは不可これは減点の対象となる。月形学園(少年院)が院外面接で使用する月形温泉も寄ってみた。パンフをもらったがよく読まなかった。月形温泉でも監獄食が食べられるのだった、丁度屋飯だったので月形役場に食堂でもあれば月形刑務所の食事をしたことにでもしようかと思っていたし丁度屋時だったので残念だった。まあこの日の屋食は夕張の角海老の豚角煮そばが候補だったのもあるが、このそばはおいしい豚角煮は全然しつこくなく丁寧に脂を取った手間が伺えます。おやつは早来のレストランみやもとのカマンベールチーズソフトおいしいです 250 円。店の通りはパイパスが出来た為に旧道になってしまい交通量が減ってしまっ



たそうです。道の駅フォレスト大滝、ここで勘違い隣接するときの王国でのご汁が 100 円なのだが道の駅にもあり 150 円のものご汁に値段が上がったかと思ってしまう。ここを出る時に気が付いたのだがしばらく走

ったところにもきのこ王国の支店があったため寄ってみた。値段は安いながらもおいしい。本日のご汁 2 軒のはしご。大和旅館に着いてチェックイン。中村 Jr とご対面、多忙期なのでおばあちゃんが孫の面倒を引き受けているとのことでした。部屋の連中と夕食に出かけましたが私はきのこ汁 2 杯飲んでるのでラーメン小で済ませました。休憩所でプチ宴会、健康的に早め

